PAT-NO:

JP360250984A

DOCUMENT -

JP 60250984 A

IDENTIFIER:

TITLE:

PRINTING METHOD FOR STEERING

WHEEL

PUBN-DATE:

December 11, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

INABA, KAZUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NIPPON PLAST CO LTD N/A

APPL-NO: JP59106919

APPL-DATE: May 26, 1984

INT-CL B41M001/12 , B29C059/00 , B41M001/24 ,

(IPC): B41M001/40 , B05D005/06 , B05D007/02

US-CL-CURRENT: 427/256

ABSTRACT:

PURPOSE: To clearly print on a horn pad, by
printing characters or the like on a grained surface
of a component part by a printing method wherein a

250□400- mesh screen formed from a synthetic resin having a specified elongation and a specified tensile yield strength is used.

CONSTITUTION: Characters of a description of an automobile or the like are formed in a 300-mesh screen formed from a nylon having an elongation of 200% and a tensile yield strength of 400kg/cm2. The screen is fitted to a frame, and is set to a printing surface 2 of the horn pad 1 of the stearing wheel formed of polyvinyl chloride and having a curved surface at a prat thereof. Then, an ink is supplied onto the screen, and is caused to exude through the screen by pressing it by a squeegee. Since the screen is well deformed along the curved surface of the horn pad 1 with favorable drape, the characters of the description of the automobile or the like formed in the screen are favorably printed 3 on the printing surface 2 of the horn pad 1.

COPYRIGHT: (C) 1985, JPO&Japio

⑩.日本国特許庁(JP)

@特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭60-250984

@Int_Cl_4	識別記号	庁内整理番号		49公開	昭和60年(198	15)12月11日
B 41 M 1/12 B 29 C 59/00 B 41 M 1/24 1/40		6771-2H 6617-4F 6771-2H 6771-2H				
# B 05 D 5/06 7/02		7048–4F 7048–4F	審査請求	未請求	発明の数 1	(全3頁)

図発明の名称

切出 願

ステアリングホイールの印刷表示方法

②特 願 昭59-106919

20出 顧昭59(1984)5月26日

⑩発 明 者 稲 葉 和 男

富士市青島119番地の22 日本プラスト株式会社内

日本プラスト株式会社 富士市青島119番地の22

70代 理 人 弁理士 岩瀬 真治

朔 細 看

1. 発明の名称 ステアリングホイールの印刷要示

2.特許請求の範囲

塩化ビニールなどの軟質合成樹脂で成形されて少なくとも1部分が曲面である殺面を有するとともに数表面にシボ加工を施されたホーンパードなどの部品を装置したステアリングホイールにおいて、伸び率5~300多引張降伏強さ150~650kg/cdの合成樹脂からなる250~400メンシュのスクリーンを用いたスクリーン印刷法により前能部品のシボ面に文字、模様、図柄などの少なくとも1つを印刷表示することを特徴とするステアリングホイールの印刷表示方法。

3.発明の許細な説明

産業上の利用分野

との発明はステアリングホイールの印刷表示方 法に係るものである。

従来の技術

従来のステアリングホイールの表示方法として

は第3図に図示したようにホーンパッド11と別 体の硬質合成樹脂製エンプレム12の装面にホツ トスタンプや裏面からの色差し法により文字、模 様、図枘などの少なくとも1つを表示13し、と のエンプレム12をホーンパッド11の袋面に固 滑したり、または第4図に図示したようにアルミ ニウムプレート22の表面にプレス加工と印刷に より文字、模様、凶柄などの少なくとも1つを装 示23し、とのプレートであるフィニツシヤー22 をホーンパッド21の表面に固着したりしていた ために、ホーンパッドとエンプレムまたはフイニ ツシャーとをほぼ同一平面にすることや位置合わ せを行うことが難しいという欠点があり、艮好に 位償合わせしても使用しているりちに熱による変 形が生じて両者間に位置メレが生じるという欠点 がある。更にエンブレムまたはフィニツシャーに **炭ボするために台座の成形、被加工面の前処理、** 表示後の強打ち塗装など多くの工程を必要とする ために袋示コストが高くなる欠点がある。

これらの欠点を解消するためにステアリンクホ

イールのホーンパッドに文字や図形などを直接印刷して表示することが試みられたが、ホーンパッドはシボ面を有する塩化ビニールなどの軟質合成樹脂製部品であり、かつ被印刷面の少なくとも1 部分が曲面であるために鮮明な印刷を施すことは 確めて困難である。

発明が解決しようとする問題点

この発明は従来のステアリングホイールの表示 方法が有するこれらの欠点を解消し、ステアリン グホイールの1部分が曲面で、かつシボ加工され た部品投面に文字、模様、図柄などの5ちの少な くとも1つを印刷表示できることを目的としたも のである。

問題点を解決するための手段

この発明のステアリングホイールの印刷 表示方法は伸び率5~300%、引張降伏強さ150~650%/cdの合成樹脂からなる250~400メツシュのスクリーンを用いたスクリーン印刷法によりステアリングホイールの1配分が曲面で、かつシボ加工された配品表面に自動車メーカー名

ヤ車種名の文字、模様、車種マークの図柄などの うちの少なくとも1 つを印刷するものである。

との発明のステアリングホイールの印刷表示方法に用いる合成樹脂製スクリーンの材料の伸び率が5 多未満では被印刷面へのスクリーンのなしみが悪いし、300多を終えるとスクリーンに挽みが出易くなつで耐用年数が短かくなる。またスクリーンの材料の引張降伏強さが150 を/ は未満では印刷枠にスクリーンを展張する際にスクリーンに歪みが発生するおそれがあるし、650を/ ぱを超えると枠にスクリーンを展張することが難しい。そしてスクリーンが250メツシュ未満では印刷の離郭がぼやけてしまうし、400メツシュを越えるとインクの辞出性が悪くなる。

次にとの発明のステエリングホールの印刷表示 方法を1実施例について説明する。

奥施 例

伸び率200%、引張降伏強さ400kg/cdの ナイロンで作成した300メッシュのスクリーン に単権名の文字などを描く。このスクリーンを枠

に展張し、高級感を出すために塩化ビニールで成 形されて 1 部分が曲面である袋面にシボ加工を施 されたステアリングホイールのホーンパッド 1 の 印刷面 2 にスクリーンをセットする。

次にスクリーン上にインキを供給してスキージで押圧夢出させると、前記のような特性値を有するスクリーンがホーンパッド1の曲面に沿つてよく変形してよくなじむのでスクリーンに構かれた 車種名の文字などがホーンパッド1の印刷面2によく印刷表示3される。

使用するインキとしては有機顔料、ビヒクル及び助剤からなるインキ素材 1 0 0 部に紹剤 2 0 部を加えた蒸発乾燥型のインキを使用するとよい。 この単植名の文字などの印刷 投示3 を有するホーンパッド1 はステアリングホイール5 の本体 4 に 鉄製フンクで固滑される。

発明の効果

この発明は塩化ビニールなどの飲質合成樹脂で 成形されて少なくとも1部分が曲面である製面を 有するとともにこの製面にシボ加工を施されたホ ーンパッドなどの部品を装着したステアリングホイールにおいて、伸び率5~500分別張降伏強さ150~650ね/この合成樹脂からなる250~400メッシュのスクリーンを用いたスクリーン印刷法により削記部品のシボ面に文字、模様、図柄などの少なくとも1部分が四面で文字、模様、動車メーカー名の文字などを印刷設示することができ、エンプレムまたはフィーンシャーとの合わせ、固着の必要がなくなり、熱変形による両者の位置ペでコストを経滅することができる。

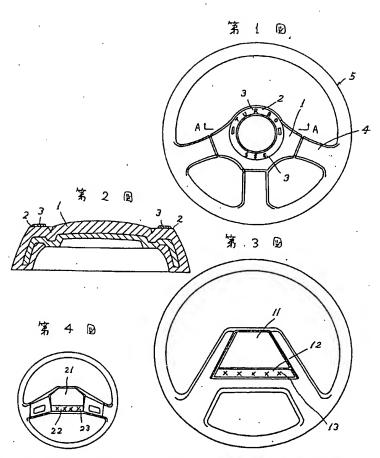
4.図面の簡単な説明

第1図は本発明の方法で印刷表示したものの平面図、第2図は第1図のA-A拡大断面図、第3図と第4図はそれぞれ従来の方法で表示したものの平面図である。

1はホーンパッド、2は印刷面、3は印刷表示、

5 はステアリングホイール。

特 許 出 顧 人 日本ブラスト株式会社 代 地 人 弁 理 士 岩 漸 眞 治



\$@\$\$@□\$@ ~* +M□·X□■2 B@□@©@@